

—食と緑が支える豊かな「あま」をめざして—

食と緑の海部地域レポート'17

(2016年版)



平成29年7月

海部農林水産事務所



【表紙の写真】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯

- ① 鉢花(ベゴニア)
- ② 弥富市鍋田地区の田園風景
- ③ 相ノ川排水路(津島市、愛西市)
- ④ 「あいち花フェスタ2016」での「いいともあいち運動」の即売会
- ⑤ 弥富市鍋田地区の若苗
- ⑥ 花はす
- ⑦ イチゴ(ゆめのか)
- ⑧ 森林の学習(津島市立神守小学校)
- ⑨ 蟹宝排水機場(蟹江町)
- ⑩ 金魚(サクラニシキ)
- ⑪ 日光川河口排水機場
- ⑫ レンコン
- ⑬ 小学生を対象とした排水機場での現地学習会(蟹江町)
- ⑭ 小麦「きぬあかり」の収穫(弥富市鍋田地区)
- ⑮ はなしょうぶ
- ⑯ あま市沖之島環境保全会による生物調査

食と緑の海部地域レポート目次

I 食と緑の海部地域レポート作成の趣旨 1

II 海部地域における主な取組

1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

(1) あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上

施策目標① 新技術・新品種の本格的導入 2

(2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大

施策目標② 戦略作物の作付比率の維持・向上 3

(3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現

施策目標③ 新規就農者の確保 3

施策目標④ 担い手への農地集積 4

施策目標⑤ 農業水利施設の整備・更新 4

(4) 食品の安全・安心の確保と環境への配慮

施策目標⑥ 食品表示遵守状況調査の計画実施 5

2 農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

施策目標⑦ 「いいともあいち運動」の推進 5

施策目標⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催 6

施策目標⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催 7

(2) 食育の推進による健全な食生活の実践 7

3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

(1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保

施策目標⑩ 農村地域の防災・減災対策 8

(2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮 9

I 食と緑の海部地域レポート作成の趣旨

海部地域は、愛知県の西部に位置し、津島市、愛西市、弥富市、あま市の4市と海部郡大治町、蟹江町、飛島村の3町村を区域とし、総面積は208平方キロメートルです。

主に木曾川によって形づくられたデルタ地帯に属し、沖積層とその周辺を干拓した土地で形成され、現在では、海拔ゼロメートルの地帯が、この地域全体に広がっています。



鍋田地域(弥富市)の田園風景

平成28年3月に「食と緑の基本計画2020」が策定されました。

この「食と緑の基本計画2020」は、県民のみなさんの安全で安心できる豊かな暮らしを実現し、都市と農山漁村が調和した愛知の持続的な発展をめざす「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」の基本理念を達成するために、県として、あるいは県が市町村、農林漁業者、農林水産業関係団体及び県民との連携を図りながら取り組む姿勢を示した、食と緑に関する施策の基本方針です。

そして、この「食と緑の基本計画2020」の推進事項のうち、海部地域として、地域の特徴を踏まえ、重点的に取り組む事項を定めた実践計画として「食と緑の基本計画2020海部地域推進プラン」を平成28年7月に策定しました。

この「食と緑の海部地域レポート」は、「食と緑の基本計画2020海部地域推進プラン」に掲載した海部農林水産事務所の各種の取組について、2016年度の実践状況を、とりまとめ報告するものです。

II 海部地域における主な取組

1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

(1) あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上

施策目標① 新技術・新品種の本格的導入

○小麦「きぬあかり」の海部北部地域での栽培面積の拡大について

愛知県農業総合試験場は、県内の栽培環境に適し、うどんなど日本麺用への加工に向けた多収の小麦「きぬあかり」を開発しました。

愛知県では「きぬあかり」を小麦生産の主力品種と位置づけ、従来品種の「イワイノダイチ」等から「きぬあかり」への全面転換が計画されています。

この海部地域においても、弥富市を中心とした南部地域で「きぬあかり」の導入が進められてきました。

しかし、愛西市を中心とした北部地域では、従来品種の小麦の栽培が盛んで、「きぬあかり」の導入はあまり進みませんでした。

そこで北部地域においても、生産される小麦の品質向上と共同乾燥施設等の効率的な利用を図るために、「きぬあかり」の作付面積を7割にすることを目標に、作付の拡大を図ってきました。

北部地域における「きぬあかり」の作付面積は、平成26年度では20 ha以下でしたが、平成29年度の作付計画は168.9 haとなり、「きぬあかり」の作付面積の割合は約67.6%になりました。

今後も、北部地域における「きぬあかり」の作付面積の、拡大を図っていきます。



きぬあかり

海部北部地域小麦作付面積 (ha)

年産	北部地域全体	うち、きぬあかり	参考；海部管内小麦	うち、きぬあかり
平成29年	250	169	885	793
平成28年	241	163	870	786
平成27年	193	128	774	604

注) 北部地域；JA あいち海部北部営農センター管内（愛西市と津島市の一部）

(2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大

施策目標② 戦略作物の作付比率の維持・向上

戦略作物である麦、飼料用米、加工用米等については、需要が増加傾向にあるので、それに対応した作付を推進しました。

海部農林水産事務所管内の戦略作物の作付面積は、平成27年度は1,448 haでしたが、平成28年度は1,472 haとなり、約1.7%増加しました。

○6次産業化の推進について

愛知県では、農林漁業(第一次産業)と製造業(第二次産業)、小売業等(第三次産業)の融合を図り、農山漁村の活性化の取組として、6次産業化を推進しています。

海部農林水産事務所では、平成28年度は、農林漁業者からの6次産業化についての相談に対応するため、年間7回の現地指導を行いました。

(3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現

施策目標③ 新規就農者の確保

○平成28年度の新規就農者について

地域の農業の担い手を確保するため、海部地域推進プランでは、5年間で60名の新規就農者の確保を目標にしています。

平成28年度は、新規学卒就農者7名、Uターン就農者11名(うち中高年1名)、農外から新たに農業へ参入された方3名の合計21名が就農されました。

最近の傾向としては、農家の子弟の場合、学校卒業後にそのまま就農するよりも、一度他の仕事に就かれた後に、農業に従事されるUターン就農者が多くなっています。

新たに就農される方を支援するため、農業改良普及課に農起業支援センターを設け、新規就農を希望する個人、企業等の相談に応じています。平成28年度には計22人(延べ35回)、3企業(延べ8回)の相談を行い、営農する農地の確保、栽培に関する農業技術の習得等、就農に向けて計画的に準備ができるように支援しました。

<新規就農者数>

※各年度とも前年5月2日から当該年5月1日までの1年間に就農した人数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
新規学卒	4	2	6	1	7	20
Uターン	5	10	8	1	10	34
新規参入	0	6	0	4	3	13
中高年Uターン	1	1	1	0	1	4
中高年新規	0	0	1	0	0	1
合計	10	19	16	6	21	72

※中高年：45歳以上65歳未満をいいます。

施策目標④ 担い手への農地集積

海部地域推進プランでは、担い手(認定農業者等)への農地の集積と集約化を図るため、5年後の平成32年度末までに、担い手への農地集積を3,483 haにすることを目標としています。

平成26年度から農地集積を目的として新たに事業が開始された「農地中間管理事業」により、平成28年度末までに456 haの農地を担い手へ集積することができ、その結果、平成28年度末における海部地域における担い手への農地集積は、3,423 haとなりました。

引き続き管内の市町村及びJAと協力しながら、愛知県での農地中間管理機構である公益財団法人愛知県農業振興基金とともに、農地集積を推進していきます。

施策目標⑤ 農業水利施設の整備・更新

○老朽化した農業水利施設の整備更新による農地の生産性の維持

・農業水利施設保全対策事業

末広第2排水機場(末広第2地区:弥富市)及び芝井川排水機場(芝井川地区:弥富市)において、機器の整備・更新を行いました。

・地盤沈下対策事業

木曾川用水地区(市江支線:愛西市)及び愛西北部2期地区(幹線西支線:愛西市)において、農業用水路の改修を約830m行いました。

・特定農業用管水路特別対策事業

日置1地区(愛西市)、松梅地区(飛島村)、日置2地区(愛西市)及び森津地区(弥富市)において、老朽化した石綿セメント管、塩化ビニル管(φ75~350)約7.9kmを更新しました。



農業用水路の改修
(地盤沈下対策事業)



石綿セメント管の撤去
(特定農業用管水路特別対策事業)

(4) 食品の安全・安心の確保と環境への配慮

施策目標⑥ 食品表示遵守状況調査の計画的実施

愛知県では「食品表示は一目瞭然」を合い言葉に、平成21年度から毎月第1木曜日を「食品適正表示の日」と定め、食品表示の適正化を推進しています。

海部農林水産事務所においては、毎月第1木曜日を中心に、延べ40回、食品適正表示の遵守状況調査を実施しました。

2 農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

施策目標⑦ 「いいともあいち運動」の推進

○海部地域いいともあいち即売会の開催

愛知県では、「地産地消」の取組として、「いいともあいち運動」を推進しています。

その一環として、海部農林水産事務所では、愛知県内で作られている農産物を広くPRするため、平成28年11月25日から27日に弥富市で行われた「あいち花フェスタ2016」の会場内において、地元で生産された農産物を使った加工品の即売会を開催しました。

即売会には、海部地域の「いいともあいち」の会員さんたちが参加されました。

地元産のレンコン、トマト、イチゴなどを使った和洋菓子の販売や、いいともあいち関連のパンフレットを配布し、「いいともあいち運動」の啓発をしました。

会場を訪れたお客様からは、和洋菓子に使用した地元の農産物についての質問が多く寄せられ、改めて地元農産物への関心の高さを認識することができました。

今後も「いいともあいち運動」を通じて、地産地消や地元の農産物への関心を高めるとともに、「愛知産の農産物」のPR活動を推進していきます。



「愛知産」の農産物を使った和洋菓子の即売会

○農林漁業体験の推進

小学校における「農林漁業体験学習」を積極的に導入していただくために、平成25年3月に作成した「学校での農林漁業体験学習に係る地域協力者一覧」の内容を全面的に見直し、平成29年1月に、管内市町村と農業協同組合に配布しました。

施策目標⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催

○小学校での花育教室の開催

花や緑が身近にある生活の実現をめざすため、蟹江町立新蟹江小学校始め6校で「花育教室」を開催し、371人の児童に参加いただきました。

また、平成28年11月6日にJAあいち海部総合支援センター等で開催された「あいち花フェスタ」のプレステージでフラワーアレンジメント教室を開催し、24人の県民の方に参加いただきました。



小学校での花育教室

○海部苗木花き展示品評会即売会の開催

海部苗木花卉生産組合連合会や管内市町村、農業協同組合と連携して、平成28年4月8日～10日の3日間、弥富市にある海南こどもの国で開催し、花育教室などを行い、多くの県民の方に参加いただきました。



海南こどもの国での花育教室

○森林の学習の開催

森林の働きや木材の利用について、その性質を知り、親しみを感じてもらうために「森林の学習」を津島市立神守小学校始め8小学校、1中学校で開催し、748人の児童、生徒に参加いただきました。



森林の学習

施策目標⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催

小学校4年生を対象にした排水機場現地学習会を、10排水機場(津島市、愛西市、弥富市、あま市、蟹江町)において9回開催し、農業農村整備事業の役割、必要性についてPR活動を行いました。

9校、約400人の児童が参加しました。



排水機場での現地学習会

(2) 食育の推進による健全な食生活の実践

○海部地域食育推進ボランティア研修交流会の開催

食育推進ボランティアと市町村の食育担当者との交流と相互の連携を深めるとともに、食育に関する知識の向上とその共有を図るために、「海部地域食育推進ボランティア研修交流会」を平成28年9月16日に海部総合庁舎において開催しました。



海部地域食育推進ボランティア研修交流会での意見交換。

3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

(1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保

施策目標⑩ 農村地域の防災・減災対策

・ たん水防除事業

以下の9箇所の排水機場の整備更新を行いました。

排水機場名	地区名	市町村名	排水機場名	地区名	市町村名
向島	新堀川2期	津島市	鷹居	宝南1期	あま市
根高	新堀川1期	愛西市	四ヶ村	宝南2期	あま市
古瀬	勝幡	愛西市	蟹宝	蟹宝	蟹江町
鷹場	鷹場	愛西市	飛島	新飛島	飛島村
鍋田南部	鍋田2期	弥富市			

・ 地盤沈下対策事業

相ノ川地区(津島市、愛西市)の排水路全延長約900mの更新が完了しました。

・ 緊急農地防災事業

稲元排水機場(稲元地区：弥富市)及び蟹宝排水機場(本町舟入地区：蟹江町)の2機場の更新を行いました。

また、八穂3期地区(弥富市)、立田地区(愛西市)及び桴場地区(弥富市)において、排水路約420mの更新を行いました。



蟹宝排水機場



相ノ川排水路

(2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮

- 多面的機能支払制度を活用した農地や自然環境等の保全の取組に対する支援
 - ・ 農地を保全するための、あぜ・排水路等の草刈り、水路の泥上げ等の活動を行っている、6市町村57活動組織に対して支援をしました。



愛西市江西町農地・水保全会の草刈り活動



愛西市赤目立石環境保全会の泥上げ活動

- ・ 農家と地域住民との交流、農村環境の確認のための生物の生息状況の確認活動に対して支援をしました。



あま市沖之島環境保全会による生き物調査